

A-84 味噌汁に関する若い女性の嗜好について
大阪女子学園短大 ○高田修代 藤原耕三

目的 味噌汁の作り方については古くから煮出汁のとり方などに色々工夫されているが、現在の生活では必ずしも直すとは限らない。そこで、簡単においしい味噌汁を作る方法が考案されてよいと思われるが、その基礎資料を得るために現在の若い女性の好みを調査した。

方法 調査対象として大阪女子学園短大学生を選んだ。所定の方法で調整した味噌汁3品おっについて順位法で好みを調査した。

結果 信州味噌研究所より恵与された3種の味噌について嗜好調査をしてもっとも好まれるものを1種選が以下のテストに用いた。この場合信州味噌としてもっとも上質のものの方が好まれるとは限らなかつた。味噌汁に0.1%濃度のM.S.G.又は0.01%濃度の5'-リボチドを添加したものは無添加のものよりも明らかに好まれた。0.1%にM.S.G.を添加したものよりも0.05%M.S.G.と0.005%5'-リボチド併用の方が好まれたが、このものと0.01%濃度に5'-リボチドを使用したものでは好みに大差はなかつた。煮干しでとった煮出汁を使った場合はむしろ香が好まれず、現在市販されている即席だしのもとで作られた味噌汁の方が好まれた。